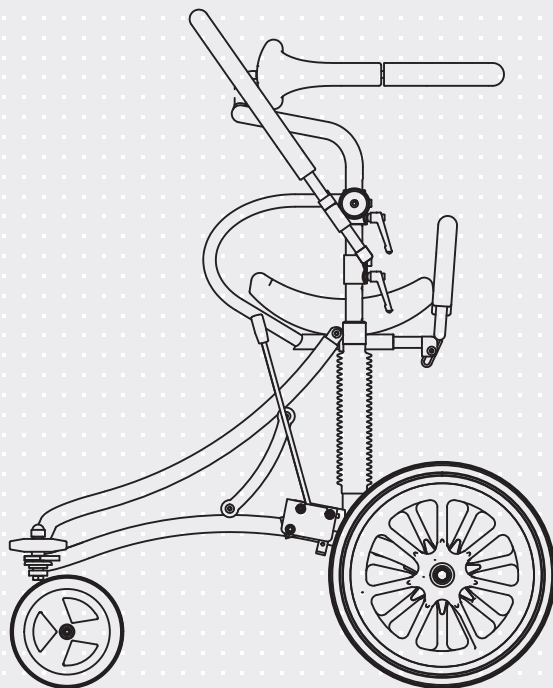




# VELA Meywalk 2000

説明書番号: 106961

項目番号:	型式
104500	小型
104175	中型
104173	大型



デザインはモデルによって異なります

## 目次

1.0. はじめに	3
1.1. 警告	4
1.2. 困ったときは	5
1.3. 歩行トレーナーのラベル	6
1.4. 安全性	7
1.4.1. 用途	7
1.4.2. 輸送	7
1.5. 保証	7
1.6. 歩行トレーナー開梱	8
1.7. お手入れと整備	8
1.7.1. 車輪	8
1.7.2. フレーム	8
1.7.3. パディング	8
1.7.4. リサイクル手引き	8
1.8. リサイクルと廃棄	9
1.9. 製品概要	9
2.0. 使用説明書	10
2.0.1. 上部と底部の組み立て	10
2.0.2. スプリングの組み立てと交換	10
2.0.3. ブレーキ	10
2.0.4. ブレーキ調節	10
2.0.5. トランクサポートの高さの調節	11
2.0.6. 座面高さ調節	11
2.0.7. 座面の調節	11
2.0.8. 座面角度の調節	11
2.0.9. トランクサポート	12
2.0.10. 乗り口、降り口	12
2.0.11. ハンドルの角度の調節	12
2.0.12. ハンドルの長さの調節	12
2.0.13. リアストップの使用	13
2.0.14. リアストップの調節	13

## お客様へ

新しいVELA歩行トレーナーをお買い求めいただき誠にありがとうございます。この歩行トレーナーを毎日楽しみながらお使いいただけることを願っています。この使用説明書は、歩行トレーナーの調整、作動、整備に関する有益な情報を提供します。

### 重要

この使用説明書を注意深くお読みいただき、必要に応じて参照できるよう大切に保管してください。この説明書は他の関連情報とあわせて、VELAのウェブサイト[www.vela.eu](http://www.vela.eu)でもご確認いただけます。

ご質問、不具合あるいは有害事象があった場合は、VELA販売代理店までご連絡ください。

弊社は随時製品を変更する権利を留保します。

VELA  
Gøteborgvej 8-12  
DK-9200 Aalborg SV  
Denmark  
[www.vela.eu](http://www.vela.eu)

## 1.1.警告




使用	VELA純正部品のみを使用すること。
使用	歩行トレーナーの付属品を改造しないこと。
使用	歩行トレーナーは意図した目的にのみ使用すること。
使用	使用する前に、歩行トレーナーの部品がすべて安全に固定されていることを確かめること。
使用	歩行トレーナーは使用者単独ではなく、必ず適切な補助者の監督下で使用すること。車輪は非常に容易に回転するため、周囲およびユーザーの危険に十分に注意すること。
使用	歩行トレーナーの乗り降りの前には、必ずブレーキをかけること。しかしながら、歩行トレーナーの使用中は、本体の傾きの危険を防ぐため、ブレーキは必ず解除すること。
使用	チルトバーは、必ず手で上げ下げし、チルトバーを踏みつけないようにすること。
使用	チルトバーは乗り降りの場合に歩行トレーナーを上下させる仕組みになっているため、チルトバーとともにゆっくりと歩行トレーナーが上昇するため、動作に注意すること。使用者、補助者に負傷の危険があるため、上下動の最中に、チルトバーから手を放さないこと。
使用	歩行トレーナーは必ず安定した面で使用すること。危険な傾きを引き起こすおそれがあるため、傾斜したり、凹凸があったり、緩んでいたり、ぬれていたり、氷っている表面、あるいは段差面では使用しないこと。
使用	歩行トレーナーの使用者が激しく動くと、スプリングシステムで危険が発生するため、十分に注意すること。VELA Meywalk 2000はスプリングを取り付けていない状態では絶対に使用しないこと。
使用	可動部ではさまりを防ぐため、調節中は歩行トレーナーを使用しないこと。
使用	VELA Meywalkおよびその付属品は、安全に設計されています。機器の部品の取り外しにより、管の開口部が露出し、鋭い縁で切り傷ができる恐れがあります。これらの管の縁は通常プラスチック・プラグで閉じておく必要があります。指等で開管部に触れないよう注意してください。
使用	清掃以外のメンテナンスは、必ず専門業者が行うこと。
使用	歩行トレーナー使用中に整備を行わないこと。
使用	推奨されたメンテナンスおよび清掃の指示に必ず従うこと。
使用	歩行トレーナーのパッド面に直射日光があたると、非常に熱くなりやけどのおそれがあるため、日光から保護するか、表面をカバーすること。

## 1.2.困ったときは

エラー	可能な原因と対処方法
ブレーキ機能が動かない。	ブレーキが有効化されていない。セクション2.0.3を参照。
上部が傾いている	両方のスプリングが正確にかみ合っていることを確認。セクション2.0.2を参照。
上部がつまって動かない	上部が正確にセットされ両方のライザーが同じ高さであることをチェックする。インナーチューブの中の高さのマークを確認する。セクション2.0.2を参照。
歩行トレーナー回転不良	車輪がブロックされている。ワイヤー残留物およびその他異物がないか点検し車輪を清掃する。
ハンドルが緩んでいる。	ネジを締める。
座面高および歩行高さが以前よりも低い	上部の六角ネジおよびつまみネジを緩め、上部を必要な位置まで動かしてから、つまみネジと六角ネジをもう一度締める。セクション2.0.5/2.0.6を参照。
座面高が以前より低い	チルトバーが折りたたまれている。セクション2.0.10を参照。

上記によって問題が解決しない場合、VELA販売代理店にご連絡ください。

### 1.3.歩行トレーナーのラベル

ラベル	60 x 22,5mm  最後の6桁は製品ID番号です:	
-----	------------------------------------	--

歩行トレーナーのラベルは、正常な屋光条件下でおよそ40cm離れた場所から読みとれるようになっています。

歩行トレーナーの操作に関するラベルに関しては、セクション2.0を参照。

#### 1.4.安全性

この歩行トレーナーはCEマークを取得し、該当するEUの規則に従います。

歩行トレーナー製造元:

VELA, Mads Clausens Vej 1, 9800 Hjørring, Denmark.

##### 1.4.1.用途

この歩行トレーナーは、適切に管理された条件下での水平面、安定した面および平らな面での使用にのみ適しています。

- :: 歩行トレーナーの乗り降りの際には、必ずブレーキをかけてください。
- :: 歩行トレーナーは、使用者単独ではなく、必ず適切な補助者の監督下で使用してください。車輪は非常に容易に回転するため、周囲および使用者の危険に十分に注意してください。

VELA Meywalk 2000歩行トレーナーは次の最大荷重について試験され承認されています: 100kg

##### 1.4.2.輸送

歩行トレーナーを自動車、飛行機あるいは他の輸送手段で輸送する場合、常にブレーキを使用すること。

歩行トレーナーは交通機関での助手席としての使用については承認されていないため、この用途では使用できません。

歩行トレーナーは、次の環境条件の下で輸送可能:

温度: -20°C から + 60°C

湿度: 15から95%

#### 1.5.保証

VELAは、歩行トレーナーが使用される国の準拠法の下での保証を提供しません。保証は専門技術者による調整が行われ、純正スペアパーツおよび付属品を使用する場合のみ適用されます。注意: VELAと別途保証契約がある場合は、個別の保証契約が優先されます!

VELAは、次の原因によって引き起こされた、製品への損害または使用者への負傷等については一切責任を負いません:

- :: 輸送
- :: 誤用
- :: 通常の損耗
- :: 誤った使用
- :: VELA純正製品でないスペアパーツおよび付属品の使用
- :: 調節が正当な資格が認められていない整備技術者によって行われた場合

## 1.6. 歩行トレーナー開梱

歩行トレーナーは環境にやさしくリサイクル可能なパッケージを使用しています。

歩行トレーナーへの欠陥あるいは輸送中の損傷が発生した場合には、すぐにVELA販売代理店に連絡してください。そのような場合、歩行トレーナーを使用したり、修理することを試みないでください。

梱包品:

:: VELA Meywalk 2000歩行トレーナー

:: 歩行トレーナーのトランクサポートおよびスプリング。インストールガイドとあわせて個別の箱で納品。注: 使用前に歩行トレーナーに取り付けてください!

:: 使用上の指示

## 1.7. お手入れと整備

歩行トレーナーは、故障や磨耗部分がないかどうか、毎年点検することをお勧めします。取り外し可能な部分はすべて定期的に締めなおしを行います。www.vela.euで各種ガイドをご確認いただけます。

### 1.7.1. 車輪

定期的に車輪をチェックし、残余の異物などを取り除いてください。

### 1.7.2. フレーム

ぬるま湯で汚れを落とします。必要ならば中性洗剤を使用します。消毒は可能ですが、溶剤クリーナーは使用できません(テレピン油等)。

### 1.7.3. パディング

合成繊維またはレザー: 困く絞ったクロスを使い、水かマイルドな石鹼で汚れを落とす。

ポリウレタンフォーム: トランクサポート中の装飾品とリアストップは、消毒クロスで容易に拭いて汚れを落とせます。

注: 通常のすべての装飾品等については、www.vela.euで清掃のお手入れ方法をご確認ください。

### 1.7.4. リサイクル手引き

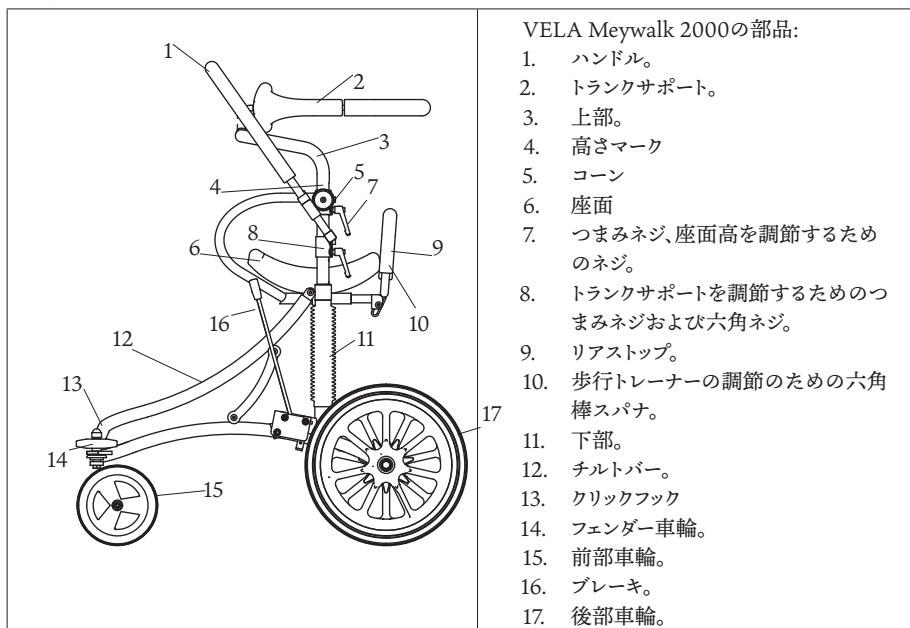
歩行トレーナーが技術者によって整備され、必要がなくなった場合、VELA Meywalk 2000は譲渡し再使用することができます。

VELA、VELA販売代理店あるいは専門技術者が毎年の検査と磨耗部分の交換を行い、かつ定期的で適切な使用を行った場合、歩行トレーナーの平均寿命は5年です。

## 1.8.リサイクルと処分

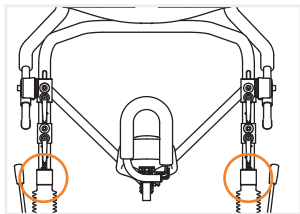
この製品はリサイクル可能物資を含んでいます。したがって、製品は、通常の家庭廃棄物と一緒にではなく地方条例に従って処分する必要があります。適切な処分およびリサイクルは、環境と人を守ります。

## 1.9.製品概要



VELA Meywalk 2000は個々の使用者の必要に歩行トレーナーを適応させる広範囲の付属品を提供しています。VELA Meywalk 2000の付属品については[www.vela.eu](http://www.vela.eu)でご確認いただけます。

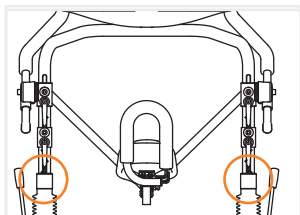
## 2.0. 使用説明書



### 2.0.1. 上部と底部の組み立て

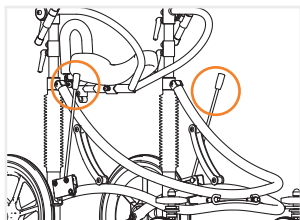
上部をシャーシ上のライザーに置きます。上部を2つのライザー内まで下げます。

注: ハンドルはスイベル前車輪に面している必要があります。



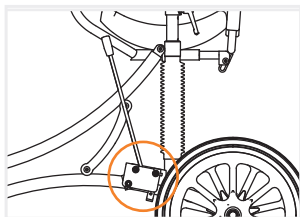
### 2.0.2. スプリングの組み立てと交換

歩行トレーナーを最初に組み立てる時に、供給されたスプリングを取り付ける必要があります。チルトバーを傾けて、上部から持ち上げます。シャーシ上のライザーに、各側に一つずつスプリングを入れます。シャーシの適所に上部を入れて、所定位置まで下ろします。



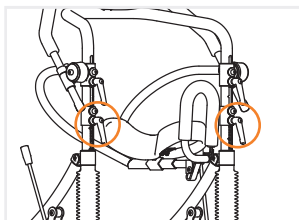
### 2.0.3. ブレーキ

ブレーキロッドは後部車輪の前に位置します。両側のブレーキをかけるには、両方のブレーキロッドを後ろに移動させます。ブレーキを解除するには、再び両方のブレーキロッドを前進させます。注: 歩行トレーナーから乗り降りする間は、ブレーキは必ずロックしておきます。



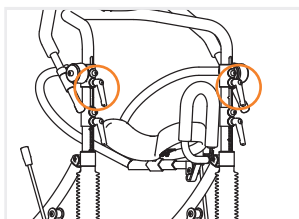
### 2.0.4. ブレーキ調節

ブレーキロッドを前に進め、シャーシにブレーキを取り付けている2個のナットを緩めます。ブレーキ機構が前後に調節できるようになります。ブレーキ固定具とカバーの間に3-5mmのクリアランスを確保します。忘れずに再びナットを締めなおします。注: 歩行トレーナー使用中にブレーキ調整を行わないこと。



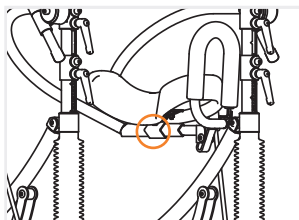
#### 2.0.5. トランクサポートの高さの調節

2つの下部の六角ネジと歩行トレーナーの上部のつまみネジを緩めます。必要な高さにトランクサポートを調節します(両側が同じ高さになるようフレームの高さマーキングを使用します)。もう一度六角ネジとつまみネジを締めなおします。注: トランクサポートの高さが変わると座面高が変わります。



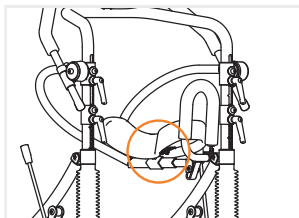
#### 2.0.6. 座面高さ調節

2つの六角ネジと歩行トレーナーの上部のつまみネジを緩めます。座面高を使用者のストライドの長さにあわせてセットします(両側が同じ高さになるようフレームの高さマーキングを使用します)。忘れずに再びネジを締めなおします。注: 歩行トレーナーの使用中は、座面の高さを調節しないこと。



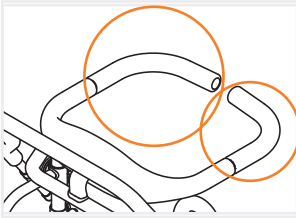
#### 2.0.7. 座面の調節

座面を保持するブラケット内の六角ネジを緩めます。これで座面を前方へあるいは後方に調節できるようになります。座面が必要な位置でロックされるように、もう一度六角ネジを締めなおします。注: 歩行トレーナーの使用中は、座面の高さ調節調節作業を行わないこと。



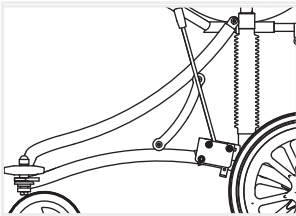
#### 2.0.8. 座面角度の調節

座面の下側の4個のナットを緩めます。必要な位置に座面の角度を調節し、再び4個のナットを締めなおします。注: 歩行トレーナーの使用中には、座面の角度調節作業を行わないこと。



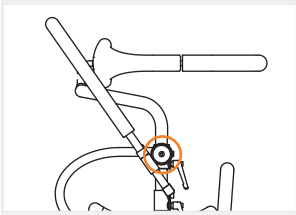
#### 2.0.9.トランクサポート

トランクサポートを開くには外部のハンドル(後部)を上にかかします。トランクサポートを閉じるには、再びハンドルを下へ滑らせて開口部を狭めます。注: 歩行トレーナーが使用されている間は、トランクサポートは常に閉じておくこと。



#### 2.0.10.乗り口、降り口

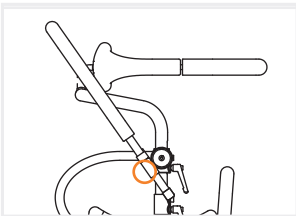
両手でチルトバーの正面をつかみ、傾けます。これで座面ユニットが下がり、乗り降りがしやすくなります。座面ユニットを再び上げるには、は、クリック・フックでかちりという音がしてロックされるまで、チルトバーを押し下げます。注: 歩行トレーナーが使用されている間は、トランクサポート(セクション2.0.9)およびリアストップ(セクション2.0.13)を閉じておいてください。



#### 2.0.11.ハンドルの角度の調節

ハンドルがマウントされている2つのコーン内の六角ネジを緩めます。必要な角度にハンドルを調節し、2つのコーン内の六角ネジを再度締めなおします。

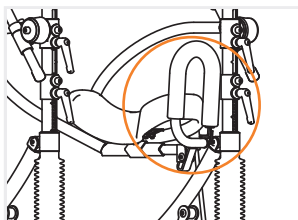
注: ハンドルは、使用者が使いやすいよう(例えば仕事台や調理台での使用など)、立て向き角度に調節することもできます。



#### 2.0.12.ハンドルの長さの調節

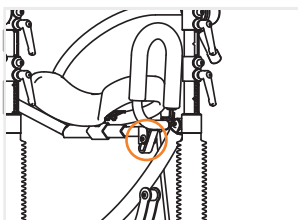
ハンドルがマウントされている2つのコーン内の二本のネジを緩めます。これでハンドルを前方へあるいは後方に調節できるようになります。必要な位置にハンドルを調節し、再度スクリューを締めなおします。

\* チルトバーを上下に動かしている間は、バーから手を放さないこと。



#### 2.0.13.リアストップの使用

歩行トレーナーが使用されている間は、リアストップは常にロックしておいてください。リアストップが座面とロックの間で固定されるよう動かします。リアストップを上げて、歩行トレーナーを降りる場合にはリアストップを下へ揺り動かして開きます。



#### 2.0.14.リアストップの調節

リアストップのスクエアプロファイル内の六角ネジを見つけます。ネジを緩めて、長さ方向を必要な位置に調整します。忘れずに再度六角ネジを締めなおします。

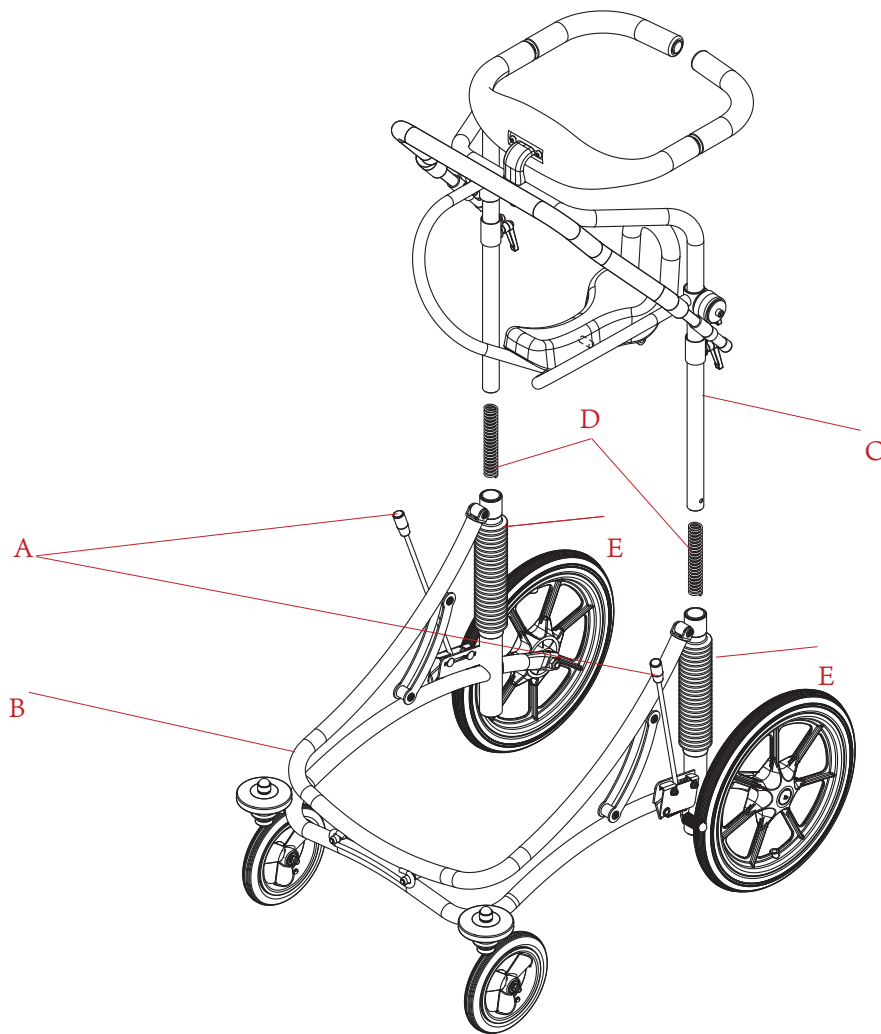


## スプリング - VELA Meywalk 2000

### VELA Meywalk 2000スプリング取り付けガイド

製品番号:

104291	ホワイト	最小 20kg
104292	イエロー	最小 45kg
104293	ブルー	最小 65kg
104294	レッド	最小 80kg



#### 説明

1. 歩行トレーナーのブレーキをかけます (A)。
2. チルトバー(B)を上げて、歩行トレーナーの上部(C)を取り外します。
3. シャーシ上のライザー(E)に、各側の一つずつスプリング(D)を下げて入れます。
4. スプリングの上必要な位置まで下がるように、シャーシ上のライザー(E)に歩行トレーナーの上部(C)を置きます(D)。
5. 歩行トレーナーはこれで使える状態になっています。



# トランクサポート - VELA Meywalk/Miniwalk

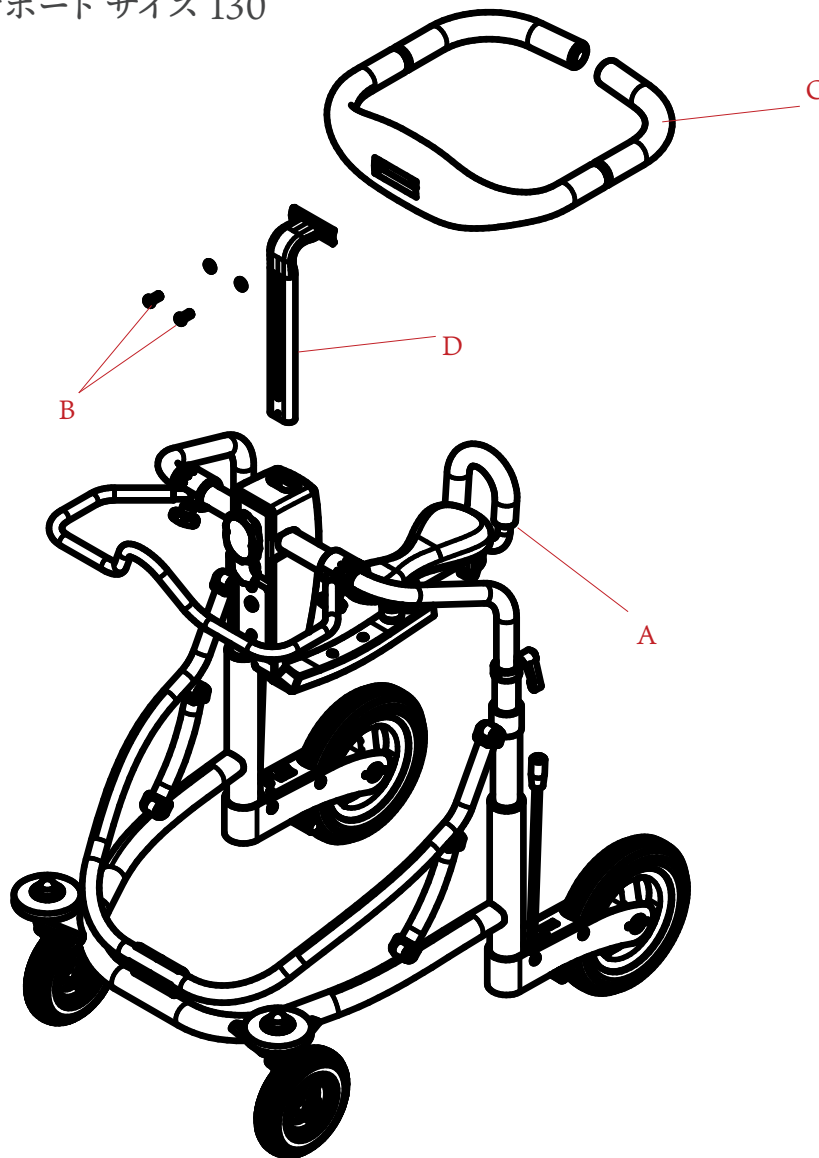
## VELA Meywalk/Miniwalkトランクサポート取り付け説明書

製品番号:

011101	トランクサポート サイズ 70
011105	トランクサポート サイズ 90
011109	トランクサポート サイズ 105
011113	トランクサポート サイズ 120
011118	トランクサポート サイズ 130



動画ガイド:  
vl1935.dk/mey3



### 説明

1. リアストップ内の六角棒スパナを見つけます(A)。
2. トランクサポート(C)からリング(B)を備えた2本のボルトを取り外します。
3. トランクサポートが2つの穴で歩行トレーナー(D)の反対側に入るように置き、2本のボルトおよびリング(B)でトランクサポート(C)をマウントします。
4. ボルトを六角ネジで閉め、トランクサポートをしっかりと取り付けます。